平成 17 年度第 1 回理事会議事録

［第 2 部］
日時　平成 17 年 4 月 4 日（月）　7:00～8:30
会場　宝ヶ池プリンスホテル「高砂」
出席者
理事長：武谷　雄二
理　事：石川　睦男、石塚　文平、稲葉　憲之、井上　正樹、宇田川康博、梅咲　直彦、岡井　崇、岡村　州博、落合　和徳、嘉村　敏治、吉川　史隆、田中　俊誠、野田　洋一、秦　利之、平松　祐司、星　和彦、丸尾　猛、吉川　裕之、吉村　泰典、和氣　徳夫
監　事：荒木　勤、佐藤　章、藤井　信吾
幹事長：吉田　幸洋
幹　事：植田　政嗣、小田　瑞恵、小原　範之、刈谷　方俊、小林　浩、古山　将康、澤　倫太郎、清水　幸子、杉浦　真弓、高桑　好一、早川　智、阪埜　浩司、平川　俊夫、平田　修司、藤森　敬也、村上　節、矢野　哲、
議　長：清川　尚
副議長：足高　善彦、松岡幸一郎
専門委員会委員長：水沼　英樹
名誉会員：坂元　正一、鈴森　薫、高橋　克幸、野田起一郎、藤本征一郎、Yoon Seok Chang
顧問弁護士：平岩　敬一
事務局：荒木　信一、桜田　佳久

午前 7 時 00 分、理事総数 23 名中 21 名出席、定足数に達したので、武谷理事長が開会を宣言し、議事録署名人として武谷理事長、庶務及び会計の常務理事を指名して議事に入る。

Ⅰ．協議事項

8．理事の業務分担　（資料配付）
武谷理事長から以下の通り、理事の業務分担案の説明があった。
庶務：落合　和徳（主担当理事）、石塚　文平、稲葉　憲之、岡村　州博、嘉村　敏治
会計：岡村　州博（主担当理事）、落合　和徳、和氣　徳夫
学術：和氣　徳夫（主担当理事）、岡井　崇、吉川　史隆、田中　俊誠、秦　利之、平松　祐司、星合　昊
編集：岡井　崇（主担当理事）、井上　正樹、柏村　正道、田中　俊誠、秦　利之
渉外：丸尾　猛（主担当理事）、石川　睦男、落合　和徳
社保：嘉村　敏治（主担当理事）、石川　睦男、稲葉　憲之、星合　昊、吉村　泰典
専門医制度：宇田川康博（主担当理事）、井上　正樹、梅咲　直彦、柏村　正道、野田　洋一、星　和彦、吉川　裕之
倫理：吉村　泰典（主担当理事）、稲葉　憲之、田中　俊誠

広報：稲葉　憲之（主担当理事）、石塚　文平、野田　洋一
教育：星　　和彦（主担当理事）、宇田川康博、梅咲　直彦、吉川　史隆、平松　祐司、
　　吉川　裕之、和氣　徳夫

丸尾理事より「理事は普通２つの業務担当となるのが慣例であるが、業務担当が１つの理事がいる」との指摘があり、微調整を必要とすることを前提に承認された。

ここで**武谷理事長**より「昨年度までと比べて部署が２つ増え主担当理事は１０人となった。従来主担当理事を常務理事としていたが、常務理事は定款上８人と定められている。このため当面は、専門医制度と教育の主担当理事以外の８人を対外的な常務理事としたい。」との提案があった。**藤井監事**より「もともと理事会内委員会であった部署を分けたらどうか。」との案がだされたが、学会内で大きな区別をなすものではないことから理事長案で承認をみた。

続いて**武谷理事長**より「従来大阪大学で行われていた JOGR の業務と和文誌を主とする編集の業務の兼ね合いを考慮し、編集担当として JOGR の editor in chief である村田雄二先生を岡井編集主担当理事と連名に表記して observer としてご発言をいただくことにしたい。」との提案が出された。**平松理事**より「事務局はどこに置くのか。」との質問があり、**武谷理事長**より「当面は大阪大学として今後のことは相談して考えていくことになろう。」との回答があった。この提案に関しては、**落合理事**ならびに **Yoon Seok Chang 名誉会員**より「AOFOG の了解を取る必要がある。」との指摘があったが、それを踏まえて了承された。

また、**落合理事**より「従来広報の管轄で行われていた公開講座を女性健康週間委員会に委ねる。」ことが提案され、了承された。

9. 理事会内委員会委員について

次に、理事会内委員会の理事業務分担案が以下のごとく示され、承認された。

1）広報委員会
　委員長：稲葉　憲之
　委　員：未定

2）学会のあり方検討委員会
　委員長：吉川　裕之
　委　員：宇田川康博、岡村　州博、落合　和徳、丸尾　　猛、和氣　徳夫
（以上６名）

3）2007AOFOG 組織委員会
　委員長：武谷　雄二
　副委員長：丸尾　　猛
　委　員：岡村　州博、落合　和徳、和氣　徳夫
（以上５名）

4）生殖医療評価機構検討委員会
　委員長：田中　俊誠
　委　員：吉村　泰典

（以上２名）

5）女性健康週間委員会

委員長：石塚　文平

委　員：未定

10．運営・学術・教育委員会委員

武谷理事長から、資料に基づき以下の通り委員の提案があった。

1）運営委員会

委員長：落合　和徳（庶務主担当理事）

委　員：

庶務担当理事：石塚　文平、稲葉　憲之、嘉村　敏治

会計主担当理事：岡村　州博

幹事：澤　倫太郎、阪埜　浩司、村上　　節

ブロック別委員：

（北海道）櫻木　範明　　（東　北）倉智　博久

（関　東）竹下　俊行、矢野　哲　　（北　陸）井上　正樹

（東　海）杉浦　真弓　　（近　畿）石河　　修、本庄　英雄

（中　国）工藤　美樹　　（四　国）深谷　孝夫

（九　州）瓦林達比古

理事長推薦：岩下　光利、木下　勝之、後藤　節子、田中　政信、宮崎亮一郎

（以上２４名）

2）学術委員会

委員長：和氣　徳夫（学術主担当理事）

委　員：

学術担当理事：吉川　史隆、平松　祐司、星合　　昊、田中　俊誠、秦　　利之、岡井　　崇

幹事：小原　範之、高桑　好一、平川　俊夫

周産期：金山　尚裕、齋藤　　滋、佐川　典正、田中　忠夫、吉田　幸洋

生殖：神崎　秀陽、杉野　法広、堂地　　勉、峯岸　　敬、山本　樹生

腫瘍：片渕　秀隆、小西　郁生、杉山　　徹、八重樫伸生

（以上２４名）

3）教育委員会

委員長：星　　和彦

委　員：未定

11．中央専門医制度委員会委員長、副委員長および委員（案）

武谷理事長から、資料に基づき以下の如く提案があった。

委員長：宇田川康博

副委員長：斉藤　　裕、田中　政信

研修小委員長：平原　史樹
委　員：秋山　敏夫、井上　正樹、岩下　光利、梅咲　直彦、海野　信也、大村　峯夫、柏村　正道、亀井　清、木下　勝之、久慈　直昭、栗林　靖、小林　浩、榊原　秀也、佐川　典正、櫻木　範明、清水　幸子、竹村　秀雄、寺川　直樹、栃木　明人、西井　修、野田　洋一、長谷川清志、平田　修司、星　和彦、峯岸　敬、宮崎亮一郎、吉川　裕之、渡辺　明彦

（以上３２名）

吉川（裕）理事より「研修小委員会の教育に絡む部分、また従来の教育用語委員会の仕事は新しく設置された教育の業務の範疇に入らないのか。」との質問があり、**武谷理事長**より「明確に分離できるものでもないが、教育用語委員会の内容は教育が担当し、試験問題の作成も教育で管理することになる。その他の部分は両者で相談して決めてもらいたい。」との回答があった。**星理事**より「教育は 15 名内外の委員とあるが、いつまでに決めればよいのか。」との質問があり、**武谷理事長**より「なるべく早めが望ましいが、一週間程度の余裕はある。」ことが確認された。

12. 倫理委員会について

武谷理事長から、資料に基づいて、以下の通り委員の提案があった。

委員長：吉村　泰典
副委員長：田中　俊誠
委　員：安達　知子、稲葉　憲之、大川　玲子、亀井　清、齋藤　英和、佐々木　繁、白須　和裕、竹下　俊行、栃木　明人、平原　史樹、松岡幸一郎、宮崎亮一郎
主務幹事：阪埜　浩司
幹事：久具　宏司、澤　倫太郎、下平　和久

（以上１８名）

吉村理事より「この案に関しては、まだ全員から応諾を得たわけではない」との補足があり、この点を踏まえて本案を了承した。

続いて、生殖医療部会・関連学会連絡会についても以下の通り案が示された。

生殖医療部会
部会長：吉村　泰典
（１）登録・調査小委員会
小委員長：齋藤　英和
委員：石原　理、久具　宏司、竹下　俊行、澤　倫太郎、下平　和久、阪埜　浩司　他２名
（２）遺伝カウンセリング小委員会
小委員長：平原　史樹
委員：杉浦　真弓、福嶋　義光、古山　順一、佐藤　孝道
（３）着床前診断に関する調査小委員会
小委員長：大濱　紘三

関連学会連絡会
委員長：吉村　泰典
委員：亀井　　清、田中　俊誠、宮崎亮一郎

吉村理事より「以上についても全員の応諾を得たわけではない。着床前診断に関しては、現在審議中の２件は現体制で行ってもらいたい。また、４月分の施設登録に関しても現体制で願いたい。」との発言があり、承認された。

13. 社会保険委員会について

武谷理事長から、以下の通り未定であることが説明され、了承された。
委員長：嘉村　敏治
委　員：未定

14. 専門委員会について

武谷理事長から、資料に基づいて、以下の通り各専門委員会委員の提案があった。

・生殖・内分泌委員会
委員長：水沼　英樹
副委員長：苛原　　稔
委員：久具　宏司、齋藤　英和、深谷　孝夫、吉村　泰典
（１）本邦における妊孕性温存･回復をめざした新しい手術手技の実態調査とその効果検討小委員会
委員長：深谷　孝夫
委員：塩田　　充、藤下　　晃、水沼　英樹、村上　　節
（２）本邦における多嚢胞性卵巣症候群の新しい診断基準の設定に関する小委員会
委員長：苛原　　稔
委員：久具　宏司、高橋健太郎、堂地　　勉、藤井　俊策
（３）わが国の生殖補助医療(ART)による妊娠の転帰および出生児の予後調査小委員会
委員長：久保　春海
委員：池ノ上　克、齋藤　英和、鈴森　　薫、中林　正雄、森本　義晴、吉村　泰典

・ 婦人科腫瘍委員会
委員長：稲葉　憲之
副委員長：小西　郁生
委員：岩坂　　剛、宇田川康博、嘉村　敏治、安田　　允
（１）登録業務と登録業務一元化に関する小委員会
委員長：安田　　允
委員：岩坂　　剛、礒西　成治、蓮尾　泰之、深澤　一雄
（２）本邦における遺伝性子宮内膜癌の頻度とその病態に関する小委員会
委員長：宇田川康博
委員：青木　大輔、大和田倫孝、長谷川清志、平井　康夫
（３）子宮頸部悪性腺腫とその類縁疾患の術前診断および治療ガイドライン確立に関する

小委員会
委員長：小西　郁生
委員：加来　恒壽、嘉村　敏治、塩沢　丹里、端　　晶彦

・周産期委員会
委員長：岡村　州博
副委員長：岡井　　崇
委員：金山　尚裕、瓦林達比古、中林　正雄、平松　祐司
（１）周産期医療における未承認薬に関する小委員会
委員長：金山　尚裕
委員：伊東　宏晃、海野　信也、平松　祐司、松田　義男
（２）胎児の総合的評価に関する小委員会
委員長：岡井　　崇
委員：池田　智明、瓦林達比古、上妻　志郎、菅原　準一
（３）母体死亡およびニアミスケースの調査と検討小委員会
委員長：中林　正雄
委員：朝倉　啓文、久保　隆彦、小林　　隆、斎藤　　滋

専門委員会の運営内規では、小委員会の構成は５名以内とするとされているが、生殖内分泌委員会のわが国の生殖補助医療(ART)による妊娠の転帰および出生児の予後調査小委員会の委員として７名を要することを含め、以上の案は承認された。

15. 日産婦・医会ワーキンググループ本会メンバー

武谷理事長より「メンバーは、（庶務）落合理事、（専門医制度）宇田川理事、（教育）星理事および幹事長と庶務主務幹事にお願いする。」案が示された。議題により必要があれば随時増員することを踏まえ、医会と連絡を取り合って１ー２週間の内に決めることとなった。

16. その他

(1) 平成 17 年度諸会議日程

今後の諸会議の日程について協力を求めた。

(2) 機関別認証評価に係る専門委員候補者の推薦について

独立行政法人大学評価・学位授与機構から標記専門委員の候補者推薦の依頼があった。
期日も迫っており、詳細を問い合わせた上で執行部が対応することが認められた。

(3) 理事長代行者の指名

理事長が職務を遂行できない場合、その業務を代行する理事者として、**武谷理事長**より丸尾理事が指名され、承認された。

(4) その他

和氣理事より「新理事長の平成 17 年度事業方針および計画を、学会員のためにも学会のウェブサイトに掲載してもらいたい。」との要望が出され、了承された。

石塚理事より「女性健康週間委員会の委員を何名で構成するかは、理事会等で決定してもらいたい。」との要望が出された。医会からのメンバーを医会の常務理事会にも諮っていただくことになり、後日決定することになった。

荒木監事より「常務理事８名という定款の記載を１０名に変更し、組織図も明らかにするのがよい。」という意見が出された。定款の改訂を進めることで意見の一致を見た。

以上